

第2回 桜川市自転車活用推進計画策定委員会 要約会議録

日時 令和5年1月13日（金）午後1時30分

場所 大和庁舎3階大会議室

委員出席者

渡 和由	筑波大学芸術系 准教授
石原 均	茨城県県民生活環境部スポーツ推進課 課長
海老原 徹	茨城県土木部道路維持課 道路保全強化推進室 室長
市村 一彦	茨城県筑西土木事務所道路管理課 課長
鶴崎 高志	桜川警察署交通課
橋本 慶晴	桜川市観光協会 会長
高松 利夫	高砂旅館
渡辺 章	区長会連合会 会長
小林 達徳	桜川市 副市長

委員欠席者

二宮 正志	にのみや工務店
-------	---------

委員会の流れ

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 自転車利用環境向上の方針・具体的な施策
 - (2) 自転車ネットワーク計画の方針・候補路線
 - (3) その他
- 3 閉会

< 1 開会 >

事務局：それでは、定刻になりましたので、第2回桜川市自転車活用推進計画策定委員会を開会いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

まず本日の参加状況をお知らせいたします。二宮委員はご都合により、本日欠席との連絡をいただいております。

また、本日の議事である、自転車活用推進計画の取組内容や自転車ネットワーク候補路線につきましては、庁内関係各課と連携して進めていきたいと考えております。そのため、本日は、庁内関係課が参加しております。

事務局：次に資料の確認をさせていただきます。資料は、次第、資料1「自転車利用環境向上の方針・具体的な施策」、資料2「自転車ネットワーク計画の方針・候補路線」、そのほか参考資料といたしまして、次第うらに参考資料1「桜川市自転車活用推進計画の目次構成(案)」がございます。資料等は以上となりますが、過不足はございませんでしょうか。

資料の過不足はないようですので、次に、次第の「2 議事」に移ります。

桜川市自転車活用推進計画策定委員会設置要綱に基づき、委員会の進行を渡委員長、よろしくお願いいたします。

委員長：本日はこの後、自転車利用環境向上の方針・具体的な施策、自転車ネットワーク計画の方針・候補路線について議論いただくことになっており、自転車活用推進計画の骨格となる内容となっています。委員会も2月で終わりですので、要点をしっかり押さえて進めていきたいと思えます。自転車ネットワークの候補路線については、マップの用意もあるようなので、様々なご意見いただければと思えます。

委員長：では「本委員会の進め方」について、事務局より説明をお願いします。

事務局：本日の進め方といたしましては、資料1をご説明後、議事(1)自転車利用環境向上の方針・具体的な施策についてご議論いただきます。その後、資料2をご説明し、議事(2)自転車ネットワーク計画の方針・候補路線についてご意見いただければと思えます。

議事(2)につきましては、大判の図面も用意していますので、ご意見の確認等に利用したいと考えております。

委員長：只今、説明を受けたところですが、本日の進め方について、ご質問等はございますか。質問がないようなので、議事(1)自転車利用環境向上の方針・具体的な施策に入ります。

事務局より説明をお願いします。

< 2 議事 >

(1) 自転車利用環境向上の方針・具体的な施策について

事務局より下記資料を説明

「資料1 自転車利用環境向上の方針・具体的な施策（案）」

委員長：ただいま事務局より説明を受けたところですが、質問やご意見はございませんか。

資料において、自転車利用環境向上の方針や具体的な施策が全部で15ございます。まず委員の皆様いかがでしょうか。

小林委員：「施策⑥サイクル拠点の強化」について、土浦市のりんりんポートのようなサイクル拠点が岩瀬駅にも必要ではないか、と庁内で議論しています。岩瀬駅は現在、駐車スペースとトイレのみでございます。シャワー等が利用できる屋内休憩施設があると、より良いと考えています。県の方に確認ですが、過去、岩瀬駅周辺の拠点整備については県が実施する予定となりましたが、現在の県の動向や方針はいかがでしょうか。

石原委員：岩瀬駅はつくば霞ヶ浦りんりんロード（以下、りんりんロード）や県の自転車ネットワーク路線の出発・終着地となっているため、サイクル拠点があると良いと考えています。サイクル拠点は必要だと思いますが、県主体での整備は考えていません。県の予算において、真壁にあるサイクルサポートステーションの補助を行っています。りんりんポートも土浦市が整備しています。土浦駅のプレイアトレやりんりんスクエア土浦は、茨城県が事業主体となり、土浦市及びJR東日本と連携して整備しましたが、役所単体での整備は近年難しい状況です。様々な拠点を活用し、複合施設を検討してはどうでしょうか。

小林委員：施策のロードマップ案にあるよう、検討期間が必要だと思います。皆様、また相談させてください。

橋本委員：本計画は、総合計画の中に位置付ける計画なのでしょうか。

事務局：総合計画を上位計画と位置付けた計画ですので、総合計画の中に入る計画ではありません。

委員長：そのほか、質問やご意見はございませんか。関係課はご意見ありますか。

防災課：「施策⑮災害時における自転車の活用」について、避難の方法は、徒歩が原則となっています。なお、地域防災計画において、災害等発生後の被害状況及び応急対策実施状況の収集の際に通信が途絶えた場合、情報収集連絡の人員を確保するため、連絡員は自転車やオートバイを活用する旨が記載されています。避難の移動手段として自転車は合わないのではないのでしょうか。

委員 長：災害時の避難所等への移動に自転車は適さないというご意見ですが、事務局の意見はございますか。

事務局：避難の移動手段として自転車は困難であることを把握しました。災害の被害調査等においては有用なことから、施策の内容を見直します。

学校教育課：「施策⑩自転車通学の安全対策強化」について、本市では中学生の他、一部の小学生も自転車通学をしています。通学路の決定は、地元の子ども会が行っています。そのため、通学路の検討という文言は施策内容から削除をお願いします。

事務局：承知しました。

委員 長：他に質問やご意見がないようなので、次の議事に移ります。

(2) 自転車ネットワーク計画の方針・候補路線について

事務局より下記資料を説明

「資料2 自転車ネットワーク計画の方針・候補路線（案）」

海老原委員：まだ検討途中の自転車ネットワーク路線であると思いますが、県道を本市のネットワークとして選定した場合、市はどこまで環境整備等を行う考えでしょうか。
自転車ネットワーク計画の方針にあるように、県道より、河川堤防や農道等の自動車交通量の少ない路線を選定した方がサイクリストには走りやすいと考えます。

小林委員：自転車ネットワークとして整備を検討する際には、道路管理者との協議が大前提と考えています。県で進めている事業等との整合を図りつつ、計画期間の10年をかけて進めていく予定です。

委員 長：自転車ネットワーク候補の選定過程において、実際に試走等を行っているのでしょうか。

海老原委員：県の場合は、委員会メンバーや自転車の専門家に走ってもらった後、ルート選定を行いました。

小林委員：上曽トンネルが整備中ですが、石岡市の自転車ネットワークの整備を考慮するとともに、石岡市との協議も必要だと思います。

県職員：上曽トンネルの道路幅員は狭く、自転車通行空間の確保は難しいと考えます。

委員 長：石岡市内の県ルートと本市とのネットワークを検討してはいかがでしょうか。

海老原委員：茨城県がヒルクライムとしてルート設定している路線も、どのように位置づけるか検討いただきたいです。

自転車ネットワークのルートを一気に整備することは難しいので、整備の優先順位を検討してはいかがでしょうか。

委員 長：計画の方針に景観が入っていることは珍しく、良いと思います。つくば市においても自転車の活用において風景の観点を検討しているようです。

事務局：今回の候補路線の選定においても、実走や現地調査を行い、自動車の交通量や景観・眺望等に配慮しております。委員等の住民の皆様からも、生活や景観の視点から自転車を利用すると良いルート等ございましたらご意見いただければと思います。

橋本委員：商工観光課の現場を担当する職員などの意見も取り入れてはいかがでしょうか。

(3) その他

委員 長：議事(3) その他ですが、みなさん本日の会議全体の内容に関しまして、質問やご意見はございませんか。

橋本委員：自転車活用推進計画は住民とサイクリストのどちらを対象としていますか。

事務局：生活・交通安全の観点においては市民を重視し、観光の観点からは市外のサイクリストも対象に考えているため、住民・サイクリストどちらも対象とした計画です。

橋本委員：住民も計画の対象としているのであれば、学校教育課に質問があります。交通安全子ども自転車県大会は、今も実施していますか。今後も実施される予定でしょうか。

学校教育課：ここ3年は新型コロナウイルス感染症の影響で大会を実施していませんでしたが、来年は実施予定です。

橋本委員：以前、雨引小学校がいつも優秀な成績をおさめていました。子どもを含めた内容を盛り込むと、住民にもスムーズに受け入れられる計画になると思います。

県の委員に質問があります。以前、女性数名のサイクリストを起用してSNS等で情報発信し、イベントを行っていたと思います。どのような方々でしょうか。観光協会でも支援し、風光明媚なスポットで撮影等を行ったと思います。

石原委員：県で起用していた方々は、インフルエンサーや県内在住のサイクリストでした。

橋本委員：委員会はあと 1 回で終了とのことですが、渡委員長は来年度以降も計画の推進等を見守っていただけるのでしょうか。

事務局：委員会後の計画推進期間における委員長等の委員皆様の体制について検討いたします。

海老原委員：計画のアクションプラン等は考えているのでしょうか。施策についてももう少し具体的な事業等を見込み、掲載した方が良いと思います。

小林委員：計画をどう実行していくかは重要と考えます。また、自転車ネットワークについても、整備の優先度や利用目的を明確化し、色分けしてはどうでしょうか。

事務局：自転車ネットワークの優先度等の示し方について検討いたします。

委員長：つくば市は実行計画がありますが、進捗が遅い状況です。優先度が示されていないことも一因だと考えます。

橋本委員：警察の方から見た本市の自転車利用の状況はいかがですか。

委員：自動車と比較して、自転車は免許がないためマナーが悪いと思います。警察ではパンフレット等を配布し、啓発やマナーの向上を図っていきたいと考えています。また、施策にも挙げられておりますが、自転車利用時、ヘルメットの着用が努力義務化されます。春の交通安全運動あるいはそれより前倒しして、ヘルメット着用の啓発を進めていきたいと考えています。

橋本委員：りんりんロードに並行している県道41号を走るサイクリストも多く、危ないと感じています。

海老原委員：ロードバイクの方は、自動車同様の速度で通行できる県道を選ぶ人が多いようです。

委員長：桜川筑西 IC をゴール地点として、携帯でルート検索を行うと農道が指定されます。農道は、自転車で自動車並みのスピードを出して走ることができるため、長距離を走る方には良いのではないのでしょうか。

委員長：その他意見がないようですので、議事を終了いたします。皆さんご協力ありがとうございました。事務局においては、本日のご意見を計画作成の中で十分にご検討いただけるようよろしく願いいたします。
それでは進行を事務局に戻します。

事務局：委員長、会議の進行をありがとうございました。策定委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。以上で、本日の会議は終了となります。本日の委員会の要約会議録は、整理が終わり次第桜川市のホームページに掲載させていただく予定です。

今後についてですが、本日のご意見を踏まえ、庁内で方針案や自転車ネットワーク案について見直しするとともに、計画の素案としてとりまとめ、第3回の委員会にお諮りできるよう進めてまいります。

第3回委員会は2月中を予定しております。日程が近くなりましたら、またご連絡させていただきます。

< 3 閉会 >

事務局：策定委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。以上で、本日の会議は終了となります。本日は誠にありがとうございました。

以上